

## 患者さまへ

# リンパ節転移に対する Intra-tumoral Central-dose Escalated Volumetric Modulated Arc-Therapy(※1)の治療効果の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2017年1月から2022年12月にかけて吹田徳洲会病院でICE-VMAT※1(Intra-tumoral central-dose escalated volumetric modulated arc radiotherapy)を用いてリンパ節転移性腫瘍を加療したStage III-IVの進行がん患者さま ※1 ICE-VMAT:強度変調回転放射線治療(VMAT、回転照射を用いて強度変調放射線治療<IMRT>を行う放射線治療技術)において Simultaneous Integrated Boost(SIB)法という技術を応用し、リンパ節転移等の正常臓器を内包しない腫瘍に対して腫瘍内に意図的に高線量域を形成(腫瘍内中心線量増加、Intra-tumoral central-dose Escalation, ICE)することで放射線照射総線量を増やすことなく、腫瘍への実質的な照射線量の増加を実現して、有害事象を低減しつつ腫瘍制御効果向上をはかることを目的とした照射方法です。
2 研究目的・方法	ICE-VMATの有効性と安全性、対象となった患者さまの予後因子について後ろ向きに調査し評価します。 研究の期間:施設院長承認後 ~ 2024年3月末
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身体機能評価、原発疾患、病期、治療内容等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:藤原 聖輝 医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院 放射線治療科 住所:〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西 21-1 連絡先:TEL:06-6878-1110 FAX:06-6878-1114